先生の眼玉に

夢野久作

青空文庫

子供が大ぜい遊んでいるところに雪がふって来ました。

「ヤアイヤアイ　雪がふって来た
雪降れ　ウント降れ
塩になれ　砂糖になれ」

とみんながよろこびました。

「砂糖になったらどうするか」

と大きな声がきこえましたので、ビックリしてその方を見ますと、白い鬚を生やして、白い着物を着て、白い帽子を冠って、長いすきとおった氷柱のような杖を持ったお爺さんが立っておりました。

子供達はおどろいてそのお爺さんの顔を見ていますと、お爺さんはニコニコ笑いながらも一度、

「砂糖になったら何にするのか」

と子供たちに聞きました。

「お餅につけてたべる」

と三吉が答えました。

「お婆さんに嘗めさせる」

と忠太郎が言いました。
「お庭の蜜蜂にやる」
と玉子さんが言いました。
お爺さんはさもさも嬉しそうに、
「感心感心。お前たちはみんないい児だ。それじゃ塩になったらどうするかな」
と尋ねました。
「先生の眼玉にすり込んでやる」
と最前からだまっていた悪太郎が答えました。
お爺さんは急に怖い顔になって、
「よしよし。のぞみ通りにしてやるからまっておれ」
と云ううちに消え失せました。
それと一所に、何も見えなくなる程真白に雪がふり出しました。
三吉と玉子と忠太郎の処に降る雪はみんな砂糖でしたが、悪太郎の処には塩ばかりバラバラと降って、それが眼に入って痛くて堪らなくなりました。
悪太郎は泣きながらおうちへ帰ってしまいました。

青空文庫情報

底本：「夢野久作全集1」ちくま文庫、筑摩書房
　　1992（平成4）年5月22日第1刷発行
※この作品は初出時に署名「香倶土三鳥《かぐつちみどり》」で発表されたことが解題に記載されています。
入力：柴田卓治
校正：もりみつじゅんじ
2000年4月4日公開
2003年10月24日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

先生の眼玉に

夢野久作

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/